

第4回 秦野市4駅にぎわい創造検討懇話会 (東海大学前駅)

令和5年10月24日(火)
午後7時～ 花本ビル3階会議室

秦野市4駅にぎわい創造検討懇話会とは？

まちに関わる様々な人のまちに対する
思い、アイデアを共有し、形にする場

- 自分事として将来のまち（将来の暮らし等）を考える・共有する。
- やりたいこと、できそうなこと（アイデア）を具体化し、実践・検証しながら、今後の自分達の役割、関わり方について考える。
- 懇話会を通じて、仲間づくりやまちに関わることの楽しさ・達成感につなげていく。

懇話会でやろうとしていること

- 自分たちができる、「まちにいいこと」を考える
- 「どこで」「なに」をやるとまちが活性化しそうかを考える
- * 実際にやってみる
例えば…「空地でマルシェをやってみる」「道端にベンチを置く」
- 活動と議論を積み重ねる。



- 実際の体験などをもとに、自然体のまちの方向性づくりを行う。
- 行政は、活動を支援する形で、できること・やるべきことを施策とする。



まちの活性化・多くの人がまちのにぎわいづくりに参加したくなる

にぎわい創出のヒント

1

だれもが「住民」として、活動していく

住んでいる人だけでなく、まちに関わる人誰もが「住民」として、できることから活動していく

2

まちの特徴・魅力を再発見していく

新たに作るだけでなく、今あるまちの特徴・魅力を再発見していく

3

まちの特徴・魅力を発信していく

再発見したまちの特徴・魅力を、伝えていきたい人に発信していく

第3回目 of 成果

- ▶ 日 時 : 令和5年8月30日(水) 19時~20時30分
- ▶ 会 場 : 花本ビル3階 会議室
- ▶ 参加人数 : 9名
- ▶ 概要

東海大学前駅周辺の特徴、魅力、足りないところの意見出し



次第及び懇話会で話し合われた内容

1 開会

座長：中川さん

2 前回の振り返り

- ・それぞれが思う“にぎわい”について出された意見の振り返り
- ・人口割合の年代別データについて紹介

3 ワークショップ

【東海大学前駅周辺の特徴や魅力を見える化するマップづくり】

- ・東海大学前駅周辺の特徴、魅力、足りないところの意見出し
- ・足りていないと思うモノ・コトに関する意見が多く出された

4 次回以降の懇話会について

- ・特徴や魅力を活かしていくために、足りていない部分を改善していくためのアイデアを考えていく。

5 閉会

◆特徴・魅力だと思うこと

- ①居酒屋さんが多い
- ②良い立飲み屋がある。（和田屋）
- ③東海大学スイーツ
- ④呑み屋さんが多い
- ⑤美味しいパン屋さん
- ⑥学生街らしい豊富な飲食店
- ⑦素敵な個人店がある
- ⑧東海大学
- ⑨大学生、若者の活気がある
- ⑩アパートの家賃が安い・一人住まい
- ⑪住むところ多そう
- ⑫車が少ないイメージ
- ⑬道が広くてきれい、歩きやすい
- ⑭公園が近い
- ⑮大根公園（ジョギング・プール）
- ⑯ソフトな登山好きにちょうどいい山
- ⑰川がきれい
- ⑱素敵な個人店がある

◆不足していると思うこと

- ①中華が少ない
- ②カレー屋がない
- ③お店屋さんの情報がさみしい
- ④PRした方がいい
- ⑤メルカを周知してほしい
- ⑥個人経営のお店が多いのにイマイチ分からない
- ⑦地域のイベントが少ない（小中学校）地域と子供たちの交流
- ⑧駅前・地域のイベントがない
- ⑨地域コミュニティの希薄
- ⑩子どもがイベントに来ない、役員できない親
- ⑪駅前での朝市
- ⑫東海大学の敷地を用いたイベントが有効だが、立地が悪い
- ⑬名水スポットがほしい
- ⑭街灯がない・くらい・こわい
- ⑮滞留場所はどこ
- ⑯スタバ
- ⑰子ども、サークル、子育ての拠点
- ⑱山から降りてくつろぐ場所
- ⑲学習塾が少ない
- ⑳カフェがない
- ㉑市外から来た大学生が秦野について知ることができる場所がない

懇話会で話し合われた内容

キーワード

1. 東海大学に関すること
2. 飲食に関すること
3. まちづくりに関すること

まちの特徴・魅力

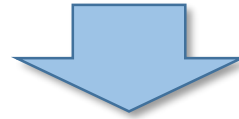
- * 東海大学
- * 豊富な飲食店
(スイーツ・パン屋・食事処・呑み屋)
- * 住みやすい
(低家賃・道が広くきれい・公園)
- * 山

足りないもの

- * 東海大学生とのかかわり方
- * 地域コミュニティの希薄
(地域の子どもとの交流機会が少ない)
- * 滞留場所
- * イベントの数
- * 広報活動 (店舗の周知・秦野について知れる場所)

今回考えていくこと

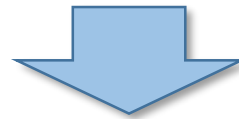
まちの魅力・特徴・足りないものについて意見出し



魅力や特徴を活かしていくために・足りないものを改善していくために、できることのアイディア出し



東海大学前駅周辺のにぎわい創造のテーマの検討



実際にどんな取り組みができるか考える

まちの紹介動画を作りたい！

学生と商店街のコラボ活動
を増やしたい！

駅広場を活用したイベント
を実施したい！

東海大学前駅周辺でやってみたいことはなんですか？

地域の人や学生が立ち寄れる
居場所づくりを考えたい！

地域の人との関わりを持ちたい！

東海大学前駅に立ち寄るきっか
けを作りたい！

安田女子大学 × 地域事業者 × 安古市町商工会 コラボプロジェクト

□ 課題

広島市安佐南区は5大学・2短大が立地する**学生が多い地域**。近年は高齢化や大型店舗の進出による消費行動の変化から、地域住民の**需要が広島市中心部に流れてしまう**ことに悩んでいた。さらに、経営者の高齢化に伴う、廃業件数の増加により、**地域の独立性も失われかけていた**。

□ 取り組み

地域住民（特に**若い世代**など）を振り向かせるような商品の開発やイベントが必要だと考えた同商工会は、地域内の**小規模事業者と学生のコラボレーション**による新たな需要開拓に取り組んだ。

「**地域のを地域の人が地域のために**」をキーワードに大学と高校などが連携して新しい商品を生み出している。

学生の意見を反映して、広島県の食材を活用した新たな**商品の開発、商品パッケージの作成**を行うほか、その商品の販路開拓手段として、**イベントでの出店・販売**も支援した。



□ 成果

若年層の新たな需要を喚起しただけでなく、コラボプロジェクトのプレスリリースや、学生の家族や教育機関関係者、地域住民等への広報により、**個性・個店自体の認知度が向上し、売上増加**につながっている。

コラボプロジェクトは学生と地域の接点としても重要な取り組みとなっている。



▲打合せ様子



▲イベント出店の様子



◀開発した商品の例

【事例紹介】川崎駅東口前広場におけるイベントの実施

川崎駅周辺の公共空間を有効活用した恒常的なまちのにぎわい創出等を目的に、令和3年11月から令和4年12月まで、**実証実験として毎月イベントを開催**。※実施したイベントは令和4年2月に事業者募集を行い、採用された事業者が実施。

□ 背景

駅前のごみの散乱や落書き、路上生活者の再定着などの課題を、賑わいを作ることによって解消しようと2018年から催しを実施。

□ 川崎駅東口駅前広場について

駅周辺は、通常9割以上がタクシー利用や通勤通学路としての利用。デジタルサイネージ型の広告塔は広告に加え、川崎の魅力を伝える公共情報を毎日発信している。

□実施エリア：川崎駅東口駅前広場（川崎ルフロンの歩道）

□実施頻度：毎月6～15日間

□イベント実施事業者

①特定営利法人カワサキミュージックキャスト

音楽ライブ、大道芸、ワークショップ、マルシェ、飲食等

②株式会社KTP PROJECT

ハンドメイドマーケット、音楽ライブ、大道芸、飲食等

① 公共空間活用による新たな取組

効果：良好な都市景観、新たな財源確保



広告塔 ネーミングライツ・バナーフラッグ

広告価値・商業的価値の向上(収入UP)

④ エリア価値の向上

エリア価値の向上・イメージアップ

広告価値の向上・商業的価値の向上

新たな財源を
まちに還元



エリア価値向上
のスパイラルアップ

魅力向上

② 環境美化、マナーアップの取組

効果：賑わいの創出等の取組に向けた環境整備



警備の巡回 環境美化(鳩、落書き対策)

賑わい創出へ向けた環境整備

③ 魅力向上・賑わいの創出の取組

効果：回遊性の向上、来街者増、商業・地域活性



オープンカフェ 道路上でのイベント



関係者によると、多い時で3千人を超える来場者が訪れたという。こうした中、市には地元商店などから実施したいとの要望が上がったことから、市は期間内なら1回でもイベントが行えるよう緩和するなど募集方法を変更。

◀5月20日に行われたイベント
(KTP PROJECT 提供)
タウンニュースより

参考)

川崎市役所//公共空間の有効活用について

<https://www.city.kawasaki.jp/500/page/0000137551.html>

タウンニュース川崎区・幸区版2023年5月26日公開

ワークショップ

にぎわい創造のために 「やりたいこと・アイディア」を考える

- ◆ 東海大学前駅周辺の特徴・魅力を生かし、足りないものを解決するために「やりたいこと」「やらなきゃいけないこと」のアイディアを考える。
- ◆ 「アイディア」を続けていくこと、まちはどう変わっていくのかを考える。
- ◆ 10年後・20年後の鶴巻地区でどのように暮らしたいか、創造して考える。

ソロワーク(10分)



東海大学前駅周辺および秦野の特徴・魅力を強めるために、
足りないもの・ことを解決するためにやりたいことのアイデアを考える

付箋に書き出してください

考え方のヒント

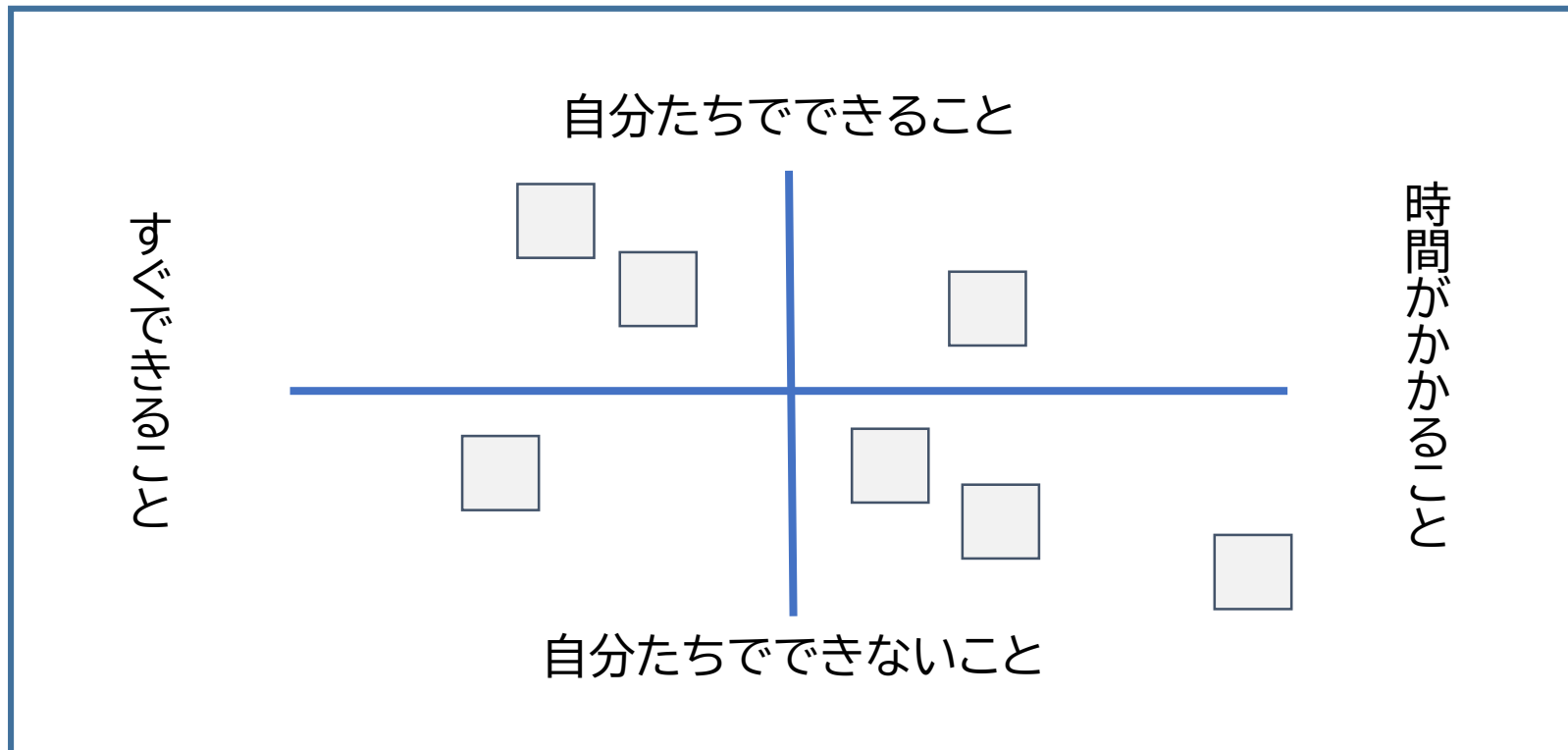
まちの特徴や魅力	×	足りていないもの・こと	➔	新たなアイデア
足りていないもの・こと	×	新たなアイデア	➔	まちの特徴や魅力
まちの特徴や魅力	×	まちの特徴や魅力	➔	新たなアイデア

✓ワークシート参照 ※シートはメモ用紙として活用ください。

自分たちでできること/自分たちではできないこと/すぐできること/時間がかかることに分類しながら考えてみましょう。

グループワーク(20分)

- ① ソロワークで考えた「やりたいことのアイディア」をグループ内で共有しましょう。
- ② 共有されたアイディアの分類を考えましょう。



全体発表（1班5分程度）

グループワークのまとめを発表し、
みんなの考えを共有する。

グループワークのまとめを発表する人を1名決めてください。

ワークショップのルール

ワークショップは、趣旨に則った意見交換の場です。

●全員が発言できるように、話は簡潔にまとめ、他の人の意見も十分に聞けるようにしてください。

◎自主性（自発性）を存分に発揮しましょう。

◎参加者相互の立場を尊重しましょう。

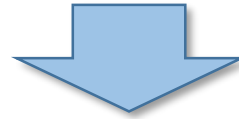
（他人の意見の非難・中傷はご遠慮ください。）

◎目的や情報など基礎的な共通認識を参加者で共有しながら進めましょう。

◎ワークショップを楽しみましょう。

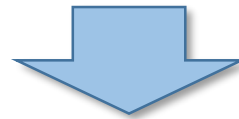
次回以降考えていくこと

まちの魅力・特徴・足りないものについて意見出し



魅力や特徴を活かしていくために・足りないものを改善していくために、できることのアイディア出し

東海大学前駅周辺のにぎわい創造のテーマの検討



実際にどんな取り組みができるか考える



3駅合同の講演会を企画中



今年度最後の懇話会(令和6年2月頃)は、鶴巻温泉駅、東海大学前駅、渋沢駅の3駅合での講演会を企画しています。

「なぜ今、にぎわいについて考える必要があるのか」、「にぎわいとは」等といったテーマで講演いただき、質疑応答の時間を設ける予定です。

講演予定講師：今井 裕久 氏

伊豆の国市伊豆長岡温泉活性化アドバイザー/一般社団法人伊豆長岡温泉エリアマネジメント 理事/株プラスニューオフィス プロデューサー/法政大学デザイン工学部・現代福祉部兼任講師など

秦野駅北口周辺 にぎわいのあるまちづくりシンポジウムでもゲストスピーカーとしてお越しいただいた方です。

**“はだの”の未来に向けて
～ はじめてみよう、できることから ～**

**秦野駅北口周辺
にぎわいのあるまちづくり
シンポジウム**

日時 令和5年3月26日(日) 10:00~12:00 (予定)

場所 JAはだの 本町支所 2階会議室 (秦野市本町1-9-3)

参加費無料 事前登録制

実行主体：秦野市はだの魅力をづくり推進課 運営支援：株式会社URリネージュ

**秦野駅北口周辺
にぎわいのあるまちづくり
シンポジウム**

社会・経済情勢の変化により、人々の価値観やライフスタイルをはじめ、まちづくりにも求められるもの、まちづくりの進め方も変化しています。市の中心的な商業地として発展してきた秦野駅北口周辺においても、これまでの取組みを踏まえながら、時代のニーズに合った新しい視点でまちづくりを進めていくことが求められています。続けられるコミュニティを目指し、「温泉のある暮らし」をテーマに温泉旅館、民間企業、観光協会、市役所等が連携してまちづくりを進めている伊豆の市の事例紹介とともに、秦野駅北口地区における今年度の取組みをご紹介しながら、「はだの」の未来に向けて、どんなことから始めたらいいのか、また、自らできること、仲間が必要なこと、地域一体で進めること等、公民連携によるまちづくりに向けて、ゲストや参加者の皆さんと一緒に考えたいと思います。

プログラム

- 開会あいさつ 10:00開始
- 講演
 - 伊豆長岡温泉のエリアプラットフォーム
 - 伊豆長岡温泉活性化アドバイザー
一般社団法人伊豆長岡温泉エリアマネジメント理事
- パネルディスカッション
 - 秦野の魅力や資源を生かすまちづくりのポイント
 - パネリスト：今井 裕久・岩崎 克也・山家 京子・上松 太一
コーディネーター：株式会社URリネージュ 岩崎 克也
- 閉会あいさつ 12:00終了予定

会場案内・問い合わせ先

会場 JAはだの 本町支所 2階会議室 (秦野市本町1-9-3)

参加費無料 事前登録制 (定員 70名)

申込方法は下記に記載するはだの魅力をづくり推進課にて電話またはメールにてお申し込みください。申込締切は3月23日(木)です。

お申込み・問い合わせ先
秦野市 はだの魅力をづくり推進課
電話番号：0463-82-9036
メールアドレス：miriyoku@city.hadano.sanagawa.jp

ゲストスピーカー

今井 裕久
伊豆の国市伊豆長岡温泉活性化アドバイザー/一般社団法人伊豆長岡温泉エリアマネジメント 理事/株プラスニューオフィス プロデューサー/法政大学デザイン工学部・現代福祉部兼任講師など

岩崎 克也
東海大学 建築都市学 教授

山家 京子
神奈川県秦野市まちづくり推進課 課長

上松 太一
秦野市 はだの魅力をづくり推進課 担当職員

次回の懇話会について

■ 次回の日程

みなさんのご都合を伺って決定したいと思います。

■ 次回以降考えていくこと

出されたアイデアを実際に実践していくための取り組みを考える。

□ 令和6年度の懇話会は…

これまで出されたアイデアを実際に取り組んでみる、東海大学前駅周辺のまちづくりの方針を検討していく予定です。

